

私立小のかきねを越えた未来の学校「192Future School」

私立小「未来の学び」Platform 192Cafe 吉金 佳能（宝仙学園小学校），龍 達也（敬愛小学校）
山中 昭岳・松井 駿作（さとえ学園小学校），山田 耕介（福岡雙葉小学校）
キーワード：オンライン，学校を越えた学び，実社会とのつながり

実践の概要

休校中の子どもたちに、多様で刺激的な学びを届けた。192FutureSchool はそんな想いで開校した、オンラインスクールである。週に1度、休校中の子どもたちをオンラインでつなげ、様々な学校の先生の授業やイベントを届けた。これまでに6回実施し、全国12校延べ約400人が参加した。他の学校の子とチームを組んで課題解決をするなど、日常では体験できない学びを届けることができた。

※192 という数字は、日本私立小学校連合会に所属する学校数を表している（2018年10月時点）。

1. 目的・目標

(1) この実践の価値

新型コロナウイルスによる休校中に、多くの団体がオンラインスクールを立ち上げたが、学校の先生が、学校を越えて学校の児童のために立ち上げた例は珍しいのではないかと。我々の実践はそこに価値がある。我々私立小のメンバーは、日本の教育モデルになるべく、新たなICT活用例を提案する（写真1）。



写真1 192FSのイメージカバー

(2) ICT活用の目的とねらい

本実践のICT活用の目的は、いつでもどこでもつながり、誰とでも学び合える環境をつくることである。ねらいは、子どもたちが、自身が所有する1人1台端末の持つ大きな可能性を感じ、さらなる活用につなげることである。子どもが、ICTの持つ可能性を感じることで、GIGAスクール構想の先が開けると考えている。それは、子どもたちがICTを当たり前道具として使いこなし、新たな学びを創造する姿である。

※今回使用したICT機器は、WEB会議システム（Zoom）である。また、必要に応じて Kahoot!や Quizlet、ロイロノート・スクールなどのアプリも使いながら楽しく進めていった。

2. 実践内容

2.1 これまでの活動

192FutureSchool（以下192FS）は、2020年5月1日の開校以来、これまで6回のイベントを行い、全国12校延べ約400人が参加した。15時スタートで、毎回40分程度で実施した（写真2）。

- ・5月1日 FS#1「社会科王決定戦！」
- ・5月8日 FS#2「理科王決定戦！」
- ・5月15日 FS#3「全国ハッピープロジェクト！」
- ・5月21日 FS#4「超難問クイズ！チームバトル」
- ・5月27日 FS#5「なぞなぞ王は君だ！日本一決定戦」
- ・8月17日 FS#6「社会科クイズ王選手権」



写真2 イベントの様子

内容は、教科的なクイズや思考を楽しむものが多いが、なるべく自己紹介や学校紹介の時間をとり、交流の時間を大切に運営してきた。第3回の全国ハッピープロジェクトでは、お家時間の過ごし方を、全国のみんなと紹介し合った。自分なりの楽しい過ごし方や、こんなことするとお家の人が喜んだよという情報など、さまざまに交流をすることができた。

2.2 実践の先進性と普及性

この実践の先進性・普及性は、ともに高いと考える。これからの教育は、実社会とのつながりの中で学ぶことを求めている。そのつながりを、大きく広げるのがICTである。今回の事例も、他校の子たちとのつながりの中で学び、学ぶ意味や楽しさを共有しながら進めていった。何より、多様な価値観に触れたことで、ものの見方や考え方が広がったのではないかと。

新型コロナウイルスの影響もあり、日本のICT教育は大きく進んだ。このような学校を越えた取り組みも、難しくなくなった。その一つの事例として、先駆的にICT教育に力を入れていた私立小の取り組みを発信することで、日本のICT教育のさらなる推進に役立つことができ

ると考えている。ICT 夢コンテストに応募し、取り上げていただけたことが、まさに普及につながる工夫のひとつである。

3. 成果

実践の成果に関しては、参加した子どもたちの声（アンケート結果）で語らせて欲しい。全6回で計160件のアンケート回答があった。項目は4つ、その結果を以下に記す（図1、2）。記述については一部抜粋である。

①192FSはどうでしたか。

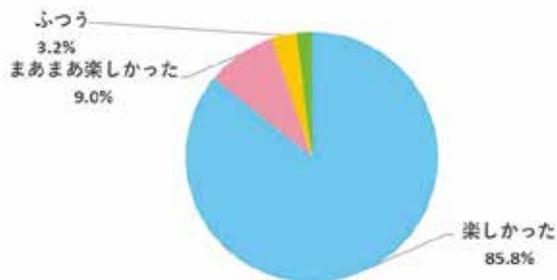


図1 アンケート結果

※楽しくなかったと回答した児童の多くは、ネットワークトラブルがあった児童であった。

②次のイベントがあれば、参加したいですか。

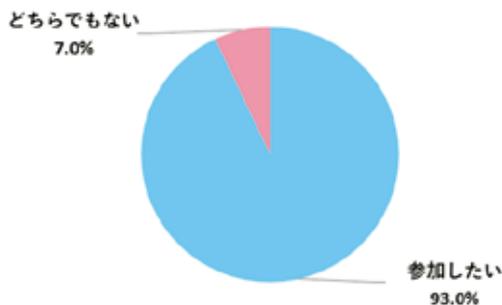


図2 アンケート結果

③今回の感想・コメントがあればお書きください。

【子ども】

- ・みんなの理科のレベルの高さにビックリしたし、自分も頑張ろうと思いました。休校でなかったら他校とこんなふう交流する機会がないので良い経験ができたし、いろいろチャレンジしたいなと思いました。
- ・他校の人は自己紹介がてきぱきとしていて、リーダーシップがあり、憧れました。
- ・東京にいるのに、組んだチームの子が関西の子だった事に驚いた。オンラインならではの良い点だなと思いました。

・Zoomを使ったのが初めてだったので、慣れている他の小学生達の話し合いの進め方の提案についていくのが大変でした。発言のタイミングも難しかったです。もっともっと発言したかった思いが残りましたが、それも良い経験になったと感じています。とても楽しかったので、また参加したいです！

・新型コロナウイルス感染拡大防止のために学校に行けていないですが、そんな時にもこうやって楽しめるので、すごく良かったです。また次回の192フューチャースクールに参加したいと思います!!

【保護者】

- ・子供は想像以上のクオリティに喜び、ライブ感に興奮し、普段の勉強では見せない集中力で臨んでいました。終了後は自ら調べ、復習するなど、その影響は大きかったと思います。
- ・子どもがすごく楽しそうにしている、クイズ番組に参加したような高揚感というのでしょうか、久しぶりにこんなにイキイキとしている姿を見て嬉しくなりました。

④どんな内容の授業を受けたいですか。

- ・プログラミングをした事がないので、是非その授業を受けてみたいです。
- ・コロナウイルスなどのテーマを決めて、みんながどういう風に考えているかについて、意見交換ができればいいなあ。
- ・自分の好きな本やハマっているものを紹介しあいたい。

4. 今後に向けて

192FSは、これからも継続して実施していく。今後は、課外活動にとどまらず、授業に応用することも計画している。例えばいま構想しているのは、「192TED」というイベントである。これは、テーマを決めたプレゼン大会である。それを校内だけではなく、他校にまで広げて実施することで、より多様な価値観に触れ、大きく成長できる機会にしたいと思い描いている。

これを企画している我々がそうしているように、学校を越えた学びの場を創っていくことが、子どもたちの可能性、そして学校の可能性をさらに引き出すことにつながると思う。

今回の受賞を機に、192FSのHPを作成した。今後のイベントについては、HPを通して告知をしていく。今回いただく予定の副賞も、すべて子どもたちへ還元する考えである。HPをぜひご覧いただき、広く知っていただければありがたい（右のQRコード参照）。



192FSのHPリンク